



登頂の記念に写真撮影を行いました

万歳三唱で登頂を祝う

七時雨山開き

新日本百名山や岩手の20名山に数えられる七時雨山(1,063m)の山開きが6月1日、西根寺田登山口で開かれました。

山開き式には、関係者ら約50人が参加。安全祈願の後、岡田久副市長から登山隊に市旗とピッケルが手渡され、登山が開始されました。恵まれた天候の下、多くの家族連れや登山愛好家が爽やかな汗を流し、山頂では万歳三唱で登頂を祝い、記念撮影や手作り弁当を楽しみました。

心地よい風を受け疾走

第2回七時雨マウンテントレイルフェス

七時雨マウンテントレイルフェスが6月14、15の両日、七時雨山周辺で行われました。

14日は、前夜祭として県産農産物の販売や引き馬体験などを実施。15日は、田代山から七時雨山までの22km「カルデラトレイル」を舞台に、出場者294人が健脚を競いました。ランナーたちは、雨でぬかるんだ登山道に苦戦しながらも、コースの起伏を楽しみ、懸命にゴールを目指していました(市内出場者の入賞者は11名に掲載)。



スタート2km地点で笑顔を見せる参加者



友達が注目する中、重機を操作する児童

機械に触れ操作を学ぶ

柏台小学校の重機体験

柏台小学校の重機体験が6月11日、同校敷地内で初めて行われました。

体験には、5年生15人が参加。市内の建設業3社の従業員8人が、2台の油圧ショベルを使い、操作方法や注意点などを教え、児童たちが実際に砂利を掘り起こす操作を行いました。将来の夢は建築士という宮崎椋平君は「操作は簡単だと思ったところもあった。これから、もっといろいろな重機に乗ってみたい」と、目を輝かせていました。

貴重な話に耳を傾ける

西根中学校で復興教育

盛岡市のNPO法人未来図書館は6月18日、西根中学校体育館で、キャリア教育支援事業「未来サポート」を行いました。

事業には、全校生徒が参加。東日本大震災からの復興に携わる社会人20人を講師に、被災地の現状や今後の活動などについて話を聞きました。生徒たちからは「人との関わりの大切さを学んだ」「寄り添って話を聞きたい」といった感想が発表され、被災地への思いを新たにしていました。



講師の話真剣に聴く生徒たち



同じ型の車でも年式の違いで魅力が変わります

並ぶ旧車に集まる視線

焼走り熔岩流まつり&旧車ミーティング in八幡平

焼走り熔岩流まつりと旧車ミーティングin八幡平が6月15日、岩手山焼走り国際交流村で開催され、さまざまな催しが行われました。

会場には、約170台の旧車・名車が集合。中には製造されてから半世紀が過ぎた自動車も展示されており、来場者の目を引いていました。また、昨年に行き続き行われた「こぶたレース」には、多くの子どもたちが参加し、思い通りにならないこぶたの動きに悪戦苦闘しながらも、競争を楽しんでいました。

森の再生願い植樹活動

第12回八幡平ふるさとの森づくり

「第12回八幡平ふるさとの森づくり」が6月21日、松尾鉦山跡地で行われ、約180人の参加者が森林再生のため、植樹活動を行いました。

NPO法人森びとプロジェクト委員会みちのく事務所(田中榮三郎所長)が主催。この催しは、土壌の改良と森の再生を目指し行われている活動で、今年で9年目を迎えました。今回は、ミズナラなど6種類約3千本の苗木が準備され、参加者は土地に緑が戻ることを願いながら、植樹に汗を流しました。



協力しながら植樹を行う参加者の皆さん

すなっぶギャラリー



安代小学校の1年生19人がアユの稚魚を安比川に放流しました(6月16日、五日市橋付近)



NPOあそぼっこ市職員退職者の会西根支部から市に寄せ植えが贈られました(6月10日、市役所)



市内野球チームと釜石市古希野球チーム「シルバー釜石」が交流試合(6月21日、中山グラウンド)



社会科見学で市役所を訪れた寺田小学校3年生15人が田村正彦市長に質問(6月18日、市役所市長室)



焼走り熔岩流まつりで行われたこぶたレース(6月15日、岩手山焼走り国際交流村)